

(峡南地区総体陸上の部) コロナウイルス感染防止対策マニュアル

【1】 大会を実施するにあたっての感染症対策

- ① 3密を回避する配慮を徹底して行う。
- ② 競技者、関係者の自覚（自ら自分の身を守り、他人に感染させない）を促す指導をする。
- ③ 活動再開ガイドラインと施設利用に関するガイドラインを遵守する。

【2】 具体的な対策

- ① 大会への移動方法
 - ・交通手段については各校の指導によるが、感染リスクの少ない方法での現地集合をお願いする。
- ② 各場所の集合形態
 - ・「ソーシャルディスタンス」「マスク着用」「手指消毒、手洗い」の徹底。
- ③ 招集の方法について
 - ・トラック種目の招集所は100mスタート地点付近の器具庫の外（競技場外）に設ける。フィールド種目は各種目のピットに集合すること。
 - ・招集は出場できる服装で集合し、密集を避け係員の指示に従うこと。
 - ・その他詳細は「大会規則及び選手注意事項」を参照のこと。
- ④ 服装について
 - ・審判員は、マスクは全員が着用、ビニール手袋・軍手も推奨する。
 - ・選手はマスク着用。（競技時は外してよいが、競技以外のベンチ待機中などの場面では着用する）
- ⑤ 各校の対策
 - ・各校のベンチでは、平素よりもスペースを広めに取ることと、ベンチ内で密集しないよう徹底する。ベンチには手指消毒用消毒液を各校で準備し、指導を徹底する。
 - ・大会中、仲間との握手やハイタッチ、ハグ等の行為がないよう事前に指導を行う。
 - ・当日出たゴミについては各自、各校で責任を持って持ち帰る。
- ⑥ 観客席対策
 - ・観客席は、メインスタンドを開放し、中段通路より下半分を保護者観客席とする。中段通路より上半分は、メインスタンドコンコースにベンチ割りされた学校が観戦できる。バックスタンドコンコースにベンチ割りされた学校は、バックスタンド、サイドスタンドでの観戦とする。なお、メインスタンドの出入り口は1カ所のみとする。バックスタンドへは100mスタート地点のゲートを開放し、ここからの出入りとする。観戦する保護者は事前に各校で配布された体調管理チェックシートを受付に提出し、引換証（シール）を受け取ったら衣服の見えるところに粘着する。シールがなければスタンドには入れない。
 - ・観戦時はスタンドで密集することや声を出しての応援は禁止とする。ソーシャルディスタンスやマスクの着用を徹底すること。係員の巡回やアナウンスで観戦者が密集することがないように徹底する。
- ⑦ 消毒対策
 - ・各校で消毒液を持参し、選手が競技場へ来た際と帰る際、また、ベンチ等に常備しておき頻繁な消毒を徹底する。
 - ・玄関・ゲート等の出入口と必要な競技場所に消毒液を設置し、選手・競技役員・関係者の消毒を促す。競技前後の導線を示し密を回避する。
 - ・共用の器具に触れる種目では競技前に手を消毒し、競技後にまた手を消毒するという方法を取る。競技後手洗い等でのタオルの使い回しは厳禁とする。
例：100m：スタート前に手を消毒→スタブロに触れる→ゴール後に手を消毒
砲丸投：投擲前に手を消毒→砲丸を投げる→1投投げる毎に手を消毒
- ⑧ 健康チェック・参加要件
 - ・選手は大会当日まで各校の健康チェック表を家庭の責任のもと作成し、本人が健康であることを確認した上で、保護者に参加の承諾をもらう。症状がある場合は大会への参加はできない。当日朝、大会参加前の受付時に参加承諾書を回収する。
 - ※競技に参加する選手だけでなく、補助員や競技に参加しない者についても、来場する際は参加承諾書を提出しなければならない。
 - ・試合後も来場した関係者すべてが健康チェックを続け、症状が4日以上続いた場合には事務局に連絡する。
- ⑨ 競技運営について（別紙競技注意事項参照）
- ⑩ 救急・救護体制について
 - ・近隣の医療機関と連携し、必要な場合はすぐに搬送できるようにする。